



愛川ふれあいの村9月の風景

平成23年 9月 自然のたより

今年は、残暑がなかなか引けず、秋の動植物も熱中症対策がまだまだ必要な状況です。

そのような状況でも愛川の植物や昆虫は、秋の営みを着々と進めています。愛川の秋を感じに遊びに来てみませんか？

<9月の自然のエピソード>

秋の虫と夏の虫が混在している季節、昼は蝉の声、夜は秋の虫（エンマコオロギ、ミツカドコオロギ、ケラ）が鳴いています。

可憐な花たちも、種をつけたり、球根をふやししたりして、来年に備えています。

※ダイコンソウの種は、動物たちに運んでもらおうと種の先が鉤状になっています。



お食事中的ヒメアカタテバ



産卵の途中で休憩？ ヤマトシジミ



ヒガンバナ



ノカンゾウ



センニンソウ



ダイコンソウの種（鉤状）



ケラ



ミツカドコオロギ



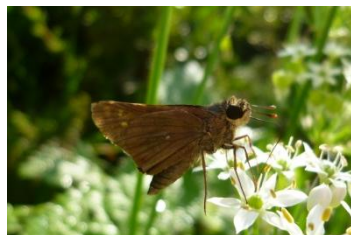
エンマコオロギ



クルマバッタ



クマバチ



イチモンジセセリ



ハラナガツチバチとツルボ



コノシメトンボ